

クラス番号	616	担当教員名	石河 久美子
テーマ	国際的視点でソーシャルワークを考える—児童、家族、女性の問題を中心に		
著書・論文	[著書] 「異文化間ソーシャルワーク—多文化共生社会をめざす新しい社会福祉実践」川島書店 2003年 [論文] 「社会福祉の国際的視点」『現代の社会福祉』所収、みらい 2005年		
研究課題等	「多文化ソーシャルワーカーの必要性」『社会福祉研究』第105号、鉄道共済会、2009年 [研究課題] 在日外国人支援、多文化ソーシャルワークの理論の開発、多文化ソーシャルワーカー育成		

ゼミナール概要

キーワード: ソーシャルワーク、国際、外国人支援、多文化

目的、内容、方法等:

みなさんは社会福祉の分野、サービス対象者というとどんなことをイメージしますか。高齢者、障害者、児童の分野、日本人の問題を扱うというのが頭に浮かぶのではないのでしょうか。しかし、近年、南米やアジアから日本にやってくる外国人の増加、長期滞在、定住化が進んでおり、これらの生活者としての外国人をどう支援していくかは、日本の社会福祉の新しい重要課題です。

このゼミでは、これらの外国人たちはなぜ日本にやってくるのか、日本で生活をしていく上でどのような問題を抱えているのか、日本人である私たちは彼らとどう関わっていったらいいのか、どのように日本社会が変わっていくべきか、必要とされる支援方法やサービスのあり方は何かといったことを、ソーシャルワークの視点から、ゼミ生と教員が一緒に考え学んでいきます。

外国人の抱える問題としては、日本人との国際結婚にまつわる問題、ドメスティック・バイオレンス、外国人の母親の育児不安、児童虐待、外国人児童の不登校、不就学、外国人女性に対する性的搾取、人身売買などがあげられます。ゼミでは、これらの問題の背景には何があるのか、また問題に対応していくにはどうしたらいいかを具体的に考えていきます。

フィールドワークをはじめとして多様な学習の方法を通して、幅広い国際的な視野を持ち、柔軟な思考と創造性を備え、人と社会環境に効果的に働きかけることのできるソーシャルワーカーとしての力を身につけていきます。

さらに詳しくは、先輩ゼミ生が作成した下記のゼミナール紹介を参照してみてください。

http://www.n-fukushi.ac.jp/gakubu/fukushi/zemi/k_ishikawa/index.htm

ゼミの学習計画:

3年前期は、在日外国人の現状や問題に関連資料、テキスト、ビデオ、フィールド見学、グループ発表を通して学び、後期は東海地方の外国人の現状や生活課題を掘り下ることと、外国人支援現場でのフィールドワークを実施します。春休みに卒論のテーマを絞り、4年前期は、具体的な外国人支援方法を深めると共に、各自卒論の作業を進めていきます。後期は卒論の完成に向けて各人の研究成果の報告を積み上げるとともに、必要に応じて福祉士対策のサポートを行います。

履修上の注意:

・ 関連講義科目として、「外国籍住民支援論」を必ず履修するようにしてください。

使用テキスト:

石河久美子『異文化間ソーシャルワーク—多文化共生社会をめざす新しい社会福祉実践』川島書店 2003年

担当教員からのメッセージ



ゼミ室だけの学習にとどまらず、フィリピン人女性の支援団体や、ブラジル人児童の教育支援団体の見学や活動参加などのフィールドワークも実施します。進んで外国人当事者と関わる、ボランティアをするなど積極性のある方を歓迎します。

外国人支援は、社会福祉では開拓的なテーマです。新しいこと、人と少し違ったことを勉強してみたい人には大変やりがいのある面白いテーマです(私もそういう人なので)。

ゼミの卒業生は、外国人支援の仕事をしている人もいますが、大多数はMSW、生活施設職員、社協、行政職員、企業と多様な現場で働いています。みな、卒業しても仲がよく同窓会も時々やっていますよ。